

運営会議の報告 (平成 29 年 10 月～平成 30 年 2 月)

1 開催日

平成 29 年 10 月 27 日、11 月 24 日、12 月 22 日、平成 30 年 1 月 26 日、2 月 26 日

2 実施内容

各部会・連絡会の報告、定例会の振り返り（10 月）、各支援センターが定例会において報告した地域課題の検討として、各部会の取組に対する進捗状況の把握、取組むべき課題等を整理し（12 月、1 月）、定例会の資料・協議会の運営方法の検討（2 月）を行いました。

(1) 施設長会議

11 月 17 日に実施した施設長会議では、日中活動資源調査の結果を一覧にまとめ、特別支援学校の生徒の進路希望調査も含めて分析を行い、事業所の分布図と併せて報告しました。

また、「計画相談支援の今後について」ということで、平成 30 年度から段階的に計画相談支援を促進する計画を報告しました。

後半では、「虐待の通報・届出状況について」と併せて「施設従事者による虐待防止について」として、虐待の定義を始めとして虐待通報、施設従事者間での虐待への知識の共有を図ることの重要性について、尾張西部圏域地域アドバイザー 野崎 貴詞氏にご講演いただきました。

3 今後に向けて

各支援センターが定例会において報告した地域課題に対する検討を始めとして各部会の進捗状況を確認しました。その結果、すまいの部会やはたらく部会など部会として取組むべき課題に対して一定の成果をあげている部会もありました。また、部会の成果の中でも、連携強化として実施される各事業ごとの事業所交流会、情報発信ツールとして作成、更新されている事業所ガイドブック等継続的に補助を必要とするものもありました。

今後は、第 4 次の障がい者総合福祉計画が策定されることも踏まえ、事業所間で検討すべき課題、部会として取組むべき課題等の整理を行い、事業の継続方法、自立支援協議会の部会の在り方を検討していきます。